## ～　若楠の由来とその背景　～

当クラブには、創立 10 周年を起点として発足した青少年育成基金「若楠基金」があります。

又、創立 40 周年を迎える本年度より、ロータリー研修会「若楠会」を設立し、その運営を開始しました。

クラブに於いて、この「若楠」の名を重んじる背景は、当クラブの特別代表をされた故平野桂樹会員に由来します。平野会員は旧制第７高等学校のご出身で、同校には所在地の城山一帯に繁茂する楠木を題材とした、逍遥歌「楠の葉末」というのがあり、平野会員のご葬儀の際にも同志の皆様が、この歌を献歌されました。そこで、同会員を末永く賞揚する意味を込め楠木を採用し、その後発足するクラブの青少年育成基金の名称を、「青少年」＝「若楠」とし「若楠基金」の設立へと至りました。

そして、この基金設立後、当クラブでは この基金を利用し数々の青少年育成事業をする事となります。

本年度創立 40 周年を迎える当クラブは、成熟した反面、会員のロータリーに対する認識や情熱も徐々に低下している感は拭えません。クラブとして素晴らしいロータリアンを育て、そしてクラブの活性化の為、ロータリーの勉強・研修の場として、ロータリー研修会を設立し、その活動を行う事としました。そして、この研修会の名称については、当クラブの原点である「ひとを育てていくクラブ」の理念のもとに設立された若楠基金の若楠と言う名称が、今後も発展し、展開する願いを込め、本研修会の名称をロータリー研修会『若楠会』としその運営を開始しました。

尚、この 40 年史の表紙についても「若楠の葉」をモチーフとし、デザインをしています。